



# 飛蚊症対策は目のピント合わせを意識して

最近飛蚊症を訴える患者さんが増えていて、少し解説をしておきます。

飛蚊症は生理的なものと病的なものに分かれます。病的飛蚊症は眼内の炎症や出血、網膜剥離等の病態が硝子体に波及したもので、自覚した日時や状況をはっきり記憶していることが特徴です。

症状が増強して手術や処置の対象になることが多いのですが、原因の病的状態を解決すれば飛蚊症もなくなりません。

それに対して、生理的飛蚊症は一種の加齢変化で、眼球の動きに合わせ

て眼内の硝子体の揺らぎが見えるものです。自覚を自覚しません。

症状に大きな変化はなく、遠方、近方、どちらを見ても起こり得ます。病的状態ではないので、手術の対象にはなりません。自覚がいつまでも続く

生理的飛蚊症の方が、訴えが強いとも言えます。飛蚊症が気になる時、目は硝子体の揺らぎを見ていて、目の前の対象物にしっかりとピントが合っていないので、ピントを合わせる意識が必要です。

点を定めてものを見る、そうすれば頻繁に飛蚊症

を自覚しません。

それでも気になるなら、目のピントを合わせるに、原因を見つけないければなりません。例えば自律神経が不調で交感神経が緊張しやすい、パソコンやスマホで疲れて眼

精疲労や外斜視になっている、メガネやコンタクトレンズが合っていない等、日頃の目の使い方、問題がないか、患者さんと一緒にひとつずつ検討していきます。加齢眼には常にケアを怠らない、目に対する思いやりの心

が大切です。

(院長・伊田宜史)

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

【休診日】木・土曜午後  
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

<http://www.ida-ganka.com>



## 伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	○	○	△
18:30	○	○	○	○	○	○	△

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階

